日本近世文学会平成27年度春季大会

期日平成27年5月30日（土）・31日（日）・6月1日（月）会場東京芸術大学音楽学部

（5号館1階5-109教室）

大会プログラム（PDF）

第1日　5月30日（土）／5号館1階5-109教室

研究発表会（14:00～16:45）

1日持上人の異域布教説と加藤清正について―『鷹峰群譚』の検討を端緒として―

立正大学（非）小此木　敏明

2本国寺版をめぐる諸問題―『録内御書』を中心として―

日蓮正宗教学研鑽所　堀部　正円

3本阿弥一族と灰屋紹益―吉野太夫の逸話における「父」と「一門」をめぐって―

北海道大学（院）工藤　隆彰

4天理図書館蔵『源氏物語打聞』の再検討―北村季吟とその後裔の古典学をめぐって―

大阪大学（院）宮川　真弥

5賀茂季鷹の人脈と名声―季鷹宛書簡を踏まえて―　　　　　　同志社大学　神谷　勝広

第2日　5月31日（日）／5号館1階5-109教室

研究発表会　午前の部：（10:00～12:15）

6 『太平記演義』の二面性―冠山の不遇意識を軸に―　　　　上智大学（院）丸井　貴史

7大枝流芳の位置―香道を中心に―　　　　　　　　総合研究大学院大学（院）武居　雅子

8西村遠里と蕃山学―『居行子』『雨中問答』を中心に―　　　　九州大学（院）吉田　宰

9藤森弘庵『春雨楼詩鈔』と幕末の出版検閲 　　　 東京大学大学院学術研究員　佐藤　温

研究発表会　午後の部：（13:30～16:15）

10 「祇園祭礼信仰記」考―人形浄瑠璃における秀吉像をめぐって―

日本学術振興会特別研究員（ＰＤ）原田　真澄

11芍薬亭長根の読本における「勧戒」―『坂東奇聞 濡衣雙紙』を中心に―

川村学園女子大学　山名　順子

12 『報仇高尾外伝』における為永春水の創作態度　　　　　早稲田大学（院）長田　和也

13 『とはしぐさ』考　　　　　　　　　　　　国文学研究資料館博士研究員　紅林　健志

14幕末福井歌壇における橘曙覧の位置　　　　　　　　　　　　　広島大学　久保田啓一

第3日　6月1日（月）

文学実地踏査